

## 【雇用・労働】

### 146．若者の働く場所の確保について

Q：集落維持には若者の定住化が一番大事です。若者が働く場の確保をお願いします。

A：市総合計画で「雲南ブランドの確立」を挙げています。これは、市が持つ魅力（ブランド）を磨き発信することで若者に地元へ就職したり、将来Uターンしたりするための、郷土に対する誇りを持ってもらおうというものです。また、結婚対策では、まちづくりグループが地域振興補助金を活用し、きめ細かい相談事業を行っています。（政策企画部）

### 147．若者の働く場所の確保について

Q：県外から帰ってきました。一番感じていることですが、働く場所が少ないです。現在も進められていますが、企業誘致を積極的に行い、若者が地元で働けるようにしていただきたい。

A：働く場所の確保は、産業振興の主要施策の一つとして考えています。合併後、2年半の間に12事業所の進出、業務拡張の実績を得ることができました。企業を誘致しやすい環境づくりを今後とも進めていきます。また、同時に、地域の産業を活かす中での職場の確保、働く場所の確保に努めます。（市長）

### 148．電源立地の奨励金について

Q：電源立地交付金はどのくらい交付されていますか。

A： 電源立地地域交付金 金額18,288千円  
内訳 旧木町町分4,788千円  
旧三刀屋町分・旧吉田分・旧掛合分 各4,500千円  
（期間）水力開発推進・調査などへの協力が認められる場合は最大30年であり旧木次分・旧吉田分はH22年度、旧三刀屋分・旧掛合分はH42年度まで  
田井小水力発電所の本年度歳入予算（売電料）は、9,009千円  
です。（政策企画部）